

一日研報告

期 日 2019年11月23日

場 所 山手公民館

参加者 11名 O、M（三重）、M、CH、YO、AR、AK、KA、TA、WA、HA

内容

「ブックレットから疑問と問題の違いについて」(MU)

「やまなし」(KA)

「ごんぎつね」記録 (AK)

「大造じいさんとガン」記録 (HA、YO)

授業映像 (AK、HA、YO)

「かさじぞう」映像 (HA)

「大地讃頌」映像 (YO)

「プラタナスの木」解釈 (AR)

テーマはズバリ「違和感」。

MUさんのレポートからみんなで話し合い、共通理解をした上で、それを「やまなし」の教材を使って確かめていきました。やっぱり「やまなし」の教材はおもしろい。WAさんが嫌いだっただ「やまなし」も、「違和感」から「BIG NEWS」へ、そして段落と段落、文と文の関係、だんだん細部へと入っていけば、物の見事に「やってみたい」教材へと変わっていきました。「解釈がおもしろい」というところから始まります。KAさん、ぜひ少しでも挑戦してくださいね。

記録の検討では、記録の場面に行くまでの問題がたくさんありました。全員で解決していかないといけない問題、そのための対立問題、そのためにはそこまでにクリアにしておかないといけない問題があります。たくさん要素が入ってくると、今何を解決しているのかが分からなくなってきました。ここぞというところをする場合は、特に肝に銘じておきたいと思います。

MUさんが介入した吉岡さんの授業記録では、「いつも」に引っかかり、展開していったものでした。リアルタイムでは聞き返せない、しかし子どもの発言に「違和感」をもつこちら側の感覚、聞き返してみんなのものにしていく姿勢、それが大事だと思いました。いつまでもできない、ではなく、できるようになる手立て、努力をしていきたいと思います。(HA)